



京都 在宅医療

検索

詳細は順次、京都医報、当センターホームページでご案内いたします。

総合診療力向上講座

対象：医師
会場：京都府医師会館3階 310会議室
※テレビ会議システムを利用した中継会場(北部・南部)もご用意しております。

京都医報、案内チラシ、当センターホームページで申込受付中です
座学での開催です

第1回
見逃しやすい内分泌疾患への心得
【と き】7月21日(土)14:30~16:30
【講 師】岡山大学病院 副院長
岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科
総合内科学 教授 大塚 文男氏

第2回
咳問診票から COPD・禁煙支援、そしてがん検診から ACP へ
【と き】9月22日(土)14:30~16:30
【講 師】市立福知山市民病院 研究研修センター長兼
総合内科医長 川島 篤志氏

第3回
「むくみ」の診方：どう診て、どう治すか？
【と き】11月10日(土)14:30~16:30
【講 師】松尾クリニック 理事長
松尾血管超音波研究室 室長 松尾 汎氏

第4回
患者の倦怠感、医療従事者の疲労
【と き】12月8日(土)14:30~16:30
【講 師】洛和会丸太町病院 救急・総合診療科
部長 上田 剛士氏

第1・2回 京都在宅医療塾Ⅱ～実践編～

「心電図・心エコーを使用する前にバイタルサインでここまで診れる—この症状は赤信号？黄色信号？青信号？—」

対象：医師
【と き】第1回 7月26日(木) 18:00~20:00
第2回 8月22日(水) 14:30~16:30

京都医報、案内チラシ、当センターホームページで申込受付中です

【ところ】京都府医師会館5階 京都府医療トレーニングセンター
【講 師】洛和会音羽リハビリテーション病院
在宅医療支援センター センター長 谷口 洋貴氏

かかりつけ医認知症サポート医フォローアップ研修

対象：医師
北部会場
【と き】10月6日(土)14:00~17:00
【ところ】サンプラザ万助(福知山市)
【講 師】京都大学医学部附属病院 緩和ケアセンター緩和医療科
京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻
准教授 谷向 仁氏

南部会場
【と き】2019年3月9日(土)16:30~19:30
【ところ】京都府医師会館3階 310会議室
【講 師】高知大学医学部 神経精神科学教室
教授 數井 裕光氏

京都在宅医療塾Ⅰ～探究編～

対象：医師・看護師
会場：京都府医師会館3階 310会議室

京都医報、案内チラシ、当センターホームページで申込受付中です
座学開催もあります。

第1回
医者じゃなくても知っておいてほしい急変させないための知識
【と き】8月5日(日)10:00~12:00
【講 師】洛和会丸太町病院 救急・総合診療科
部長 上田 剛士氏

第2回
在宅医療での神経診察
【と き】10月7日(日)10:00~調整中
【講 師】総合病院国保旭中央病院 副院長 総合診療内科部長
教育研修部長 臨床教育センター長 塩尻 俊明氏

第3回
（仮）緩和ケアについて
【と き】11月25日(日)10:00~12:00
【講 師】東邦大学医療センター 大森病院緩和ケアセンター
センター長 大津 秀一氏

第4回
テーマ調整中
【と き】12月16日(日)10:00~調整中
【講 師】堺市立総合医療センター呼吸器疾患センター長
呼吸器内科部長 郷間 巖氏

第5回
心不全の緩和ケア
【と き】2019年2月17日(日)10:00~13:00
【講 師】東京ふれあい医療生活協同組合 副理事長
梶原診療所 所長 オレンジほっとクリニック
地域連携型認知症疾患医療センター長 平原 佐斗司氏

主治医研修会

「脳卒中サバイバーの待ち受けるもの、踏み越えるべきもの」

「話す・食べるを知る」

対象：医師
【講 師】京都桂病院 脳神経内科 部長代行 富井 康宏氏
京都桂病院 リハビリテーションセンター
言語聴覚士 主任 久保 陽介氏

北部会場
【と き】9月1日(土)14:30~17:30
【ところ】ホテル北野屋(宮津市)

市内会場
【と き】9月8日(土)14:30~17:30
【ところ】京都府医師会館2階 212・213会議室

南部会場
【と き】2019年2月2日(土)14:30~17:30
【ところ】調整中

京都府医師会

在宅医療・地域包括ケアサポートセンター news

Vol. 24

2018年7月15日

京都府医師会在宅医療・地域包括ケアサポートセンター
〒604-8585 京都府京都市中京区西ノ京東桐尾町6番地 京都府医師会館3階 tel.075-354-6079 fax.075-354-6097

在宅医療・地域包括ケアサポートセンター news は奇数月15日の発行です。
※当センターホームページにてバックナンバーがお読みいただけます。

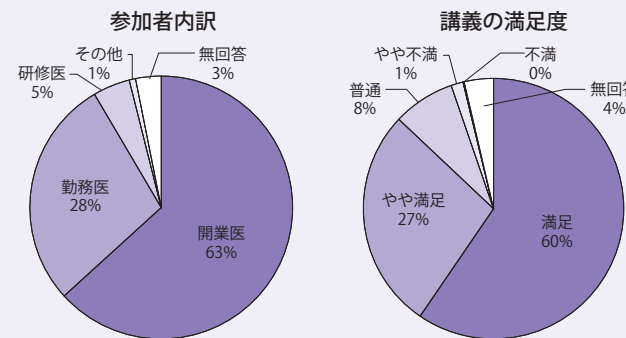
Main menu

- ◆平成30年度第1回京都在宅医療戦略会議 開催報告(P.2)
- ◆平成30年度第1回認知症サポート医連絡会 開催報告(P.3)
- ◆平成30年度 研修会予定のご案内(P.4)
- ◆<在宅医療あれこれ…>(P.3)

当センター研修会のご紹介

※お申込み、日程などについては「平成30年度研修会予定のご案内」(P.4)をご覧ください。

総合診療力向上講座 受講後アンケート結果
(H27年度～H29年度 4回/年 開催)
※参加者(延べ人数) = 2001名、回答者1404名



開業医、勤務医、研修医等を問わず、幅広い年齢層を対象とした総合的な診療力向上に資する研修です。入院、外来診療そして在宅医療にも役立つトピックスやエビデンスに基づく診断についての講義を開催いたします。

【平成30年度 講師のご紹介】 総合診療力向上講座

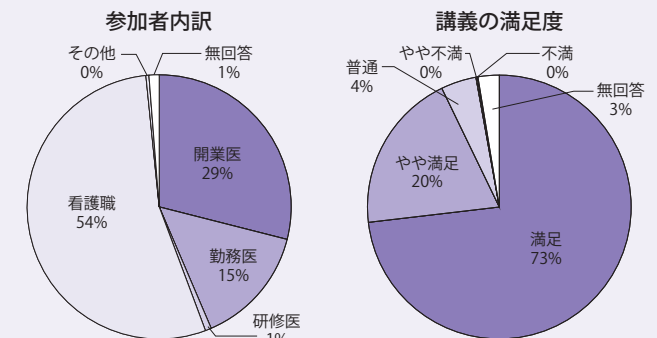


第1回講師【7月21日(土)】
岡山大学病院 副院長
岡山大学大学院
医歯薬学総合研究科
総合内科学
教授 大塚 文男氏



第2回講師【9月22日(土)】
市立福知山市民病院
研究研修センター長
総合内科医長
川島 篤志氏

京都在宅医療塾Ⅰ～探究編～ 受講後アンケート結果
(H27年度～H29年度 4回/年 開催)
※参加者(延べ人数) = 1430名、回答者808名



医師、訪問看護師等を対象に、在宅医療の要となる、かかりつけ医の対応力向上を支援するとともに、在宅療養者が安心して地域で暮らせる体制を確保するため、在宅医療のエキスパートや専門医を講師として招聘し、多職種と連携して問題解決することが重要なテーマについて講座を開催いたします。

【平成30年度 講師のご紹介】 京都在宅医療塾Ⅰ～探究編～



第1回講師【8月5日(日)】
洛和会丸太町病院
救急・総合診療科
部長 上田 剛士氏



第5回講師【2019年2月17日(日)】
東京ふれあい医療生活協同組合
副理事長 梶原診療所 所長
オレンジほっとクリニック
地域連携型認知症疾患医療センター長
平原 佐斗司氏

在宅医療に関する質問があればお問い合わせください。サポートセンターと保険医療課で連携し回答いたします。

お問い合わせ、ご意見及びご感想は
京都府医師会在宅医療・地域包括ケアサポートセンター

〒604-8585 京都府京都市中京区西ノ京東桐尾町6番地 京都府医師会館3階
tel.075-354-6079 fax.075-354-6097

平成30年度 第1回 京都在宅医療戦略会議 開催報告

平成30年6月9日(土) 京都府医師会館にて、第1回京都在宅医療戦略会議を開催し、地区医師会より20地区25名の担当役員と京都府・京都市の担当課及び関係9団体より参加いただきました。



京都府歯科医師会
地域保健担当理事
山下 正純氏

<講演> 京都府歯科医師会における在宅医療に関する取組みについて

- ① 京都府歯科医師会口腔サポートセンター(以下、KOSCと略す)現場からみた口腔ケア
 - ② KOSCの取組み
- 京都府歯科医師会 地域保健担当理事
山下 正純氏
- 京都府歯科医師会 地域保健部次長
水野 昭彦氏



京都府歯科医師会
地域保健部次長
水野 昭彦氏

【「口腔サポート事業プロジェクト」について】

従来の「在宅歯科医療連携室設備整備事業」を、平成26年度より「口腔サポート事業プロジェクト」とし、地域包括ケアの中で歯科治療の提供体制を構築することを目的に、在宅歯科医療をコーディネートする拠点として「KOSC」を整備し、「KOSC」が在宅歯科治療の支援申請を受け、全部市区、18か所設置している在宅支援地区口腔サポートセンター(以下、地区歯 OSC と略す)に地域の訪問歯科医の決定・派遣を依頼し、訪問歯科医のサポートを行うと説明されました。

「KOSC」窓口機能を強化する事業内容

- ① iPad を利用したアプリの開発
- ② 人材養成
- ③ 在宅難民の窓口の設置:「KOSC」及び「地区歯 OSC」を設置、ネットワーク構築

「KOSC」の具体的な活動内容(在宅歯科医療を行う際の歯科医師のサポート)

- ① 在宅歯科医療を行っている歯科医師と同行訪問
- ② 困難症例に対する大阪大学顎治療学教室との同行訪問(月1回)
- ③ 症例検討による人材養成
- ④ KOSC の運営会議
- ⑤ 在宅機器の貸し出し

支援対応数(224件/H27年度~3年間)も年々増加し、訪問歯科診療機器の貸出件数は徐々に増加傾向であるものの個人購入も増加していると紹介されました。

訪問歯科診療対象者は、高齢者や困難事例の他、10歳未満の在宅療養児の診療訪問依頼があり、医療的ケア児は歯科検診を受ける機会がないことが原因との見解を示されました。

地区歯 OSC については、活用状況には地域差があるとしながらも、「地区歯科医師会の地域包括ケアの連携窓口」「在宅難民の地元の歯科探しの」役割を担っており、介護認定がないケースでは主治医の診断書が必要なことがあるとし、医師の協力を呼びかけました。また、地区歯 OSC は各都市区で運営をしているため、非会員、担当地域外の歯科医師の依頼には対応できないことを課題として述べ、必ずしも「高度な訪問歯科」を提供できるわけではないこと、各地区で施設や介護職に対してのブラッシング指導なども含めた研修会を開催していることも紹介されました。

訪問歯科診療の流れとして、京都府歯科医師会が FAX で申込書を受理→地区歯 OCS へ紹介依頼→地区歯 OCS が担当歯科医の決定→患者へ訪問であるが、将来的には患者から直接地区歯 OCS へ申込みができるネットワーク体制を構築していく考えを示し、申込書が京都府歯科医師会 HP からダウンロードできることを案内されました。また歯科医師向けの同行訪問の申込書についても併せて紹介されました。

最後に、ICTアプリ「きょうのごはん録」を使用した食事カレンダーを紹介し、患者や家族から好評を得ていることを報告されました。

■ 平成30年度京都府地域包括ケア構想に資する地域在宅医療推進事業について

標記事業については、①在宅医療資源の把握状況 ②関係者間でのネットワーク形成状況 ③在宅医療に取組む人材の育成状況 ④患者・家族等への普及・啓発状況 ⑤その他一を指標とした地区医の取組みに対する補助金事業で、今年度の事業内容について、22地区よりご紹介いただきました。

平成30年度地区医師会在宅医療推進事業交付申請

地区医師会	事業名
(一社)京都北医師会 上京東部医師会 (一社)京都市西陣医師会	北区・上京区における在宅医療介護ネットワークの機能と連携の強化
(一社)中京東部医師会 京都市中京西部医師会	中京区在宅医療センター 地域連携ネットワーク(地域の地域連携室)
(一社)下京西部医師会	下京西部医師会在宅医療推進事業
下京東部医師会	下京東部医師会在宅医療推進事業
(一社)左京医師会	在宅医療連携推進事業
(一社)右京医師会	調整中
(一社)西京医師会	西京医師会在宅医療推進拠点
東山医師会	東山医師会在宅医療推進プロジェクト
山科医師会	山科区在宅医療推進事業
(一社)伏見医師会	第7回伏見医師会地域ケア懇談会
(一社)乙訓医師会	在宅医療を充実させるための各種事業 在宅医療に関するシンポジウム、多職種連携のための交流会
(一社)宇治久世医師会	在宅医療推進事業
綴喜医師会	地域での看取りを可能とするための在宅医療ネットワークの形成
(一社)相楽医師会	在宅医療における多職種参加型カンファレンスの質の向上を目標とした人材育成プログラム
亀岡市医師会	地域包括ケアにおける医療を軸にした多職種連携及び市民啓発事業
船井医師会	—
綾部医師会	綾部市在宅医療推進事業
(一社)福知山医師会	1.「在宅医療・介護のよりよい連携を求めて」福知山医師会勉強会 2.在宅医療啓発映画上映会とパネルディスカッション
(一社)舞鶴医師会	在宅医療人材育成事業
(一社)与謝医師会	—
北丹医師会	在宅医療推進事業

■ 京都市域在宅医療・介護連携推進連絡会議

京都市健康長寿企画課より、京都市在宅医療・介護連携支援センター(以下センターとする)について、センター設置状況と今後の実施案、連絡会議開催として①地区医間で情報共有することによって円滑なセンターの運営を目指す「京都市域在宅医療・介護連携推進連絡会議」、②具体的な実務の情報交換と、実務運営の平準化を目的とした「センターコーディネーター業務連絡会」について説明するとともに、認知症初期集中支援事業についても併せて地区医へ協力を呼びかけました。



平成30年度 第1回 認知症サポート医連絡会 開催報告



東京都健康長寿医療センター研究所
粟田 圭一氏

平成30年5月12日(土)、第1回認知症サポート医連絡会を開催し、認知症サポート医74名、地区医担当理事3名、京都府歯科医師会、京都府薬剤師会、京都府、京都市、京都府警察本部の参加がありました。連絡会では、「認知症サポート医に求められている役割」と題し、東京都健康長寿医療センター研究所 粟田 圭一氏にご講演いただいた後、その内容を踏まえて新・京都市オレンジプランにおける認知症サポート医の役割について活発な意見交換が行われました。

平成30年度かかりつけ医認知症対応力向上研修については、地区医師会の開催意向を踏まえ、右記のとおり開催されることとなりました。

- ・集合研修(座学のみ)2回:
府北部と京都市内で各1回
 - ・地域連携研修(地区研修)3回:
亀岡市・船井地区合同、
京都北・上京東部・西陣地区合同、東山地区で各1回
 - ・多職種協働研修(歯科医師会、薬剤師会との協働研修)2回:
中京東部・中京西部地区合同、下京西部地区で各1回
- また、2018年5月23日で任期満了となる認知症サポート医連絡会幹事の選出が行われ、引き続き、澤田 親男氏、成本 迅氏、林 理之氏に就任いただくことについて承認されました(任期は2年間)。



宇治久世医師会に所属しています。在宅療養支援診療所が創設される2年前、父親の診療所を継承しました。在宅医療に対する機運が少しずつながら高まりつつある時期でした。幸いなことに(?)継承時、父81歳ながら、3人の在宅患者さんを抱えていたもので、私の在宅医療に対するハードルはあつてないような程低いものでした。しかし、本格参入後は、悲しいこと、つらいこと、どうにもならないことの連続で、ほほほほ燃え尽き寸前の状態まで至った時期もありました。が今思うとやってみようと思った。府医理事を仰せつかり、在宅医療に費やせる時間に制限が生じてきましたが、周囲の皆様の支えもあり何とかやっております。限られた日程の中で、ピンポイント的に、空いた日の時間帯に7~8人回ったりしています。

お土地柄か、診察が終わると抹茶をたてていただいたりする事があります。本来、お断りすべきところなのですが、折角お出しいただいたものに全く手を付けられないのは申し訳なく思うのです。先日、訪問先でお茶をいただ

きながら他愛もない話をご家族としていただくと、ふと「こういう時間を作っていたら、本当に有難く思います」とのお言葉をいただきました。寝たきり患者さんで、急変のため緊急入院となった患者さんです。色々な条件下、もう在宅は無理かなと思っていましたが、経口摂食も可能となり、無事退院の運びとなりました。ご家族も随分喜ばれていました。患者さん、ご家族は、こうした我々とのゆったりとした時間の共有やほのぼのとした会話を希望されていることを改めて痛感しました。在宅は基本、バタバタとした現場なので、患者さんを診て、さっさと帰るのが常ですが、時にはじっくり寄り添っていく事も必要であり、かかりつけ医としての信頼にも繋がるのかと考えています。いただく飲み物でお腹がたっぶん、たっぶんになる時もありますが、そこはご愛敬です。永らく外来で診てきた患者さんから最期までずっとお願いしますと言われる様に、日々、研鑽して行きたいと思えます。

在宅医療あれこれ

— vol.2 —

「時にはほのぼのと」



H29年度 第2回京都在宅医療塾1より
小柳津 治樹氏
京都府医師会理事
おやいづ医院 院長